

平成23年度 市長と語る会 （下石町）

日 時 10月6日 19:30~20:50

場 所 下石公民館研修室

<事前質問及び回答>

質問	【西部体育館の改築及び周辺整備について】 現在の西部体育館は、老朽化や耐震性等問題点が多く、利用に支障をきたしている。隣接する西部支所等を含めて下石町における防災上の拠点として必要不可欠な施設であるが、これまで具体的な進展がないため、市としての方向性を明示していただきたい。
回答	市としての方向性については、新たな施設は建設費だけでなく維持管理費も必要となるため、正直言って難しい。市内の公共施設については全市的に整理が必要と考えている。西部体育館のあるところは、西部地区の拠点として、周辺を一体的に検討させていただくことになる。いずれにせよ市民の方との話し合いにより進めさせていただくこととしており、率直な意見を聞かせていただきたい。
質問	【下石町の災害時における避難場所の指定について】 現在指定されている避難場所について、実際の災害に対応できるよう今一度指定の見直しも含めて地域の住民が即断できるよう、施設を明示していただきたい。
回答	現在、下石町の避難場所として下石小学校、南防災センターの2箇所を指定避難場所、支所や公民館などの公共施設や地域公民館の22箇所を一時避難場所としている。市のHPにも掲載しているので、日頃から避難場所や避難経路等を確認していただきたい。また、今後土岐市の防災体制・防災対策を見直すこととしており、その際にはまた周知させていただく。
質問	【災害発生時の防災対策について】 ①下石町の地域防災計画の開示と住民への周知について ②防災備蓄倉庫の所在の周知と資材・機材の点検及び補充について ③地域における「見守り」体制の強化と充実について
回答	①町ごとの防災計画は作成していないが、市全体の地域防災計画を定めており、市のホームページで公開しているので確認をお願いしたい。 ②下石町には、南消防署と下石消防団中核拠点施設の2箇所に防災備蓄倉庫を設置している。資機材の点検・補充については、中核拠点施設の防災備蓄倉庫を平成21年度に新設しており、その際に点検確認を行っている。今後も自主防災組織や消防団等の方も交えて点検・補充を行っていきたいと考えている。 ③一人暮らしの高齢者や障がいのある方など災害発生時に援護を必要とする方を支援する制度（災害時要援護者制度）を平成21年3月から始めており、災害時要援護者の台帳を作成し、自治会、民生・児童委員、消防団に情報提供させていただいている。地域が連携し、災害時の支援や日頃の見守りに役立てていただきたい。

<事前質問についての意見>

意見	下石町の指定避難場所が下石小学校と消防署になっているが、阿庄地区などからは遠く離れている。見直しを行っていただきたい。また、一次避難所については地震に弱いところもあり、それらも含めて見直しをお願いしたい。
回答	避難場所については災害の種類ごとに指定する必要があると認識している。ただ、指定避難場所については長期間避難することも考えられ、物資を集中させる必要もあるため、あまり多くの場所を指定するのは難しい。場所については見直しを進める。
意見	一次避難場所については災害の種類ごとに分け、市民に分かりやすく説明していただきたい。

<自由意見>

意見	セラトピアのITセンターについて、国体の準備等のため来年度から使用できないと聞いているが、高齢者もパソコンを使う人が増えてきているため国体後でもいいので再開していただきたい。 また、文化プラザでの映写機のメンテナンスをやめると聞いたが、近隣には映画館もなく需要はあると思われるので現状を確認したい。
回答	現在はパソコンの普及率が大きく向上しており、民間企業によるパソコン講座など多数あることや、ITセンターで使用していたパソコンも古くなってきており更新の必要があるため費用対効果等を考えると廃止もやむを得ないとする。 プラザの映写機については使用状況や入場者数と維持費等を確認し、効果の方が大きければ検討させていただく。
意見	市民病院で「～様」と言われるのはやめていただきたい。 県道多治見恵那線の阿庄地区での歩道整備が進んでいない。子どもの事故の恐れもあるため対応をお願いしたい。 例えば、権限や資金を各町に1,000万程度配分し、各町で考えて整備したりするような仕組みを検討していただきたい。
回答	病院での対応については個人の捉え方にもよるが、すぐには変更することは難しい。 県道の歩道整備については県に要望しているが、県も財政状況が厳しいため進んでいない。市としても危険箇所としての認識はあり、今後も県に要望を続けていく。 各町への配分については、他の自治体で導入しているところもあるが、土岐市の財政状況では各町への配分額が少なくなってしまうため、必要なところに集中して使ったほうが良いと考える。
意見	新市長になり、大きく変わることを期待している。公約の一つに駅前の活性化があるが、具体的な内容について聞きたい。また、アウトレットの来訪者を市内へ呼び込むような具体策があれば聞かせていただきたい。
回答	今の市の状況から、何かをつくるというのは難しい。何かしなければ、何か夢を持たなければと言う意見を多く聞くが、お金がなくてもできる夢と言うのは少ない。財政状況がよければいいが、現状では何かものをつくることで財政が逼迫し逆に市民の皆さんに迷惑をかけることもありうる。ただ、駅前については高齢者住宅や産婦人科など人が集まることをしたいと考えている。 アウトレットのお客さんはアウトレットで買い物することが目的であり、市内を訪れることは考えていない。何か策を考える必要はあるが、なかなかいい考えがない状態である。ただ、あきらめずに前向きに取り組みを進めていく。
意見	瑞浪市のバサラ祭りや花火などと比べると土岐市は見劣りしてしまうが、何か考えはあるか。 市内に銭湯がなくなった。アウトレット付近の財産区の温泉の活用について、複合施設の誘致など夢の持てるような話はないか。
回答	瑞浪の祭りは見たことがないため、一度他市の状況を勉強させていただく。 財産区の温泉については自噴でないため活用するには費用がかかるため難しい。温泉を活用した企業誘致についても不景気の時代であり厳しい状況である。
意見	財産区について、旧8ヶ町村が合併してずいぶん経つが、財産区をこのまま残すのはいいかが。解散させて土岐市に取り込むようなことは考えていないのか。
回答	財産区については地方自治法でも認められた特別地方公共団体である。解散等については財産区議会をはじめとした財産区民が判断することになる。
意見	財産区の件については、できないと決め付けずに土岐市全体のことを考え検討していただきたい。
意見	若者はブロードバンド環境や携帯電話の通話環境、交通の便などで居住地を判断することになるため、土岐市よりも普及が進んでいる多治見市に流れてしまわないよう普及を進める必要があるのではないかと。学校の誘致など検討してはどうか。
回答	生活環境の整備についてはごもっともであり、特にJRの本数などは多治見と差がついている。学校の誘致については以前は郊外への進出が盛んであったが、近年はまた都心回帰の傾向にある。土岐市は緑豊かなところも魅力の一つと考えている。

意見	農業をやりたいが、インターネットが円滑に利用できない地区では居住できないという知人もいる。若者を呼び込むにはブロードバンド環境の整備は最低限必要ではないか。
回答	市が莫大な費用をかけてケーブルを設置することは現実的ではなく、市として何ができるかと言えば、各民間企業への要望程度である。あとは民間企業の判断になるが、採算からすると難しい状況である。土岐市内でもつながる箇所をアピールして行きたい。
意見	市のホームページについて、リアルタイムでの情報更新など積極的に行っていただき、活用していただきたい。
回答	是非やらせていただく。
町内会長	本日お集まりの方及び市長に感謝する。今最も関心があり重要なのは、やはり防災対策であり、特に避難場所の問題については、今後自治会としても再確認するなどしていきたい。